
松山の話

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

松山の話

【コード】

N9987U

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

書いてる途中でつまらなくなってきた、この尺になってしまった……。

プリン市街に、松山研一郎は住んでいた。
ぼろアパートである。四畳半。

しかし、研一郎は一流企業「(株)マース」に勤務していた。月収はかなりもらっている。

要するに、趣味でカネがかかり過ぎるため、高いマンションの家賃が払えないってわけ。

研一郎の趣味とは？

その話はやめよう。悲しくなる。

研一郎の弟、研二郎は、ミュージシャンだ。

しかし、ただのミュージシャンじゃない。相当すごいミュージシャンだ。

ある日、研二郎は、同棲していた光子という女に包丁で刺された。雨の日だった。

光子は、ママンヤピストである。

それと事件はあまり関係ないが、確かに多少は関係ある。

光子の趣味は、ゴルフ。

研二郎は命は助かった。

研二郎は冷やし中華が好きだった。

「ねえ研二郎。あたしと冷やし中華、どっちが好き？」

「冷やし中華かな」

「ざあああああ。」

研一郎には子供がいた。益男という。今は一緒に暮らしていない。

益男は、別れた元妻と暮らしている。

益男はやんちゃな幼稚園児。

近所の猫の尻尾をつかみ振り回したり、人の家の塀の上を勝手に歩いたりしてる。

ある日、益男はトラックにはねられた。

雨の日だった。

聖パヤンコ幼稚園の新田幸子は益男のことが好きだった。

幸子の母親の名前は圭子。

圭子は正也と不倫していた。

正也はボディビルをやっていた。

正也の悩みはいくつかあった。

特に、会社での悩みが深刻だった。

正也の妹、香津江は、飲食店で仕事していた。

しかし、先週、とあるトラブルに巻き込まれ、解雇されてしまった。

香津江の趣味はカラオケ。

得意なのはEXILEである。大ファンなのだ。

「香津江ちゃん。結婚してくれよ」

「いいわよ。喜んで」

ざああああああ。

ざああああああ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9987u/>

松山の話

2011年10月9日18時40分発行